

# 平成 30 年度東京大学法学部推薦入試 グループ・ディスカッション課題

## 注意事項

- (1) 審査員の合図があったら、この表紙を開いて課題文を読んでください。課題文を読む時間は5分です。
- (2) 5分後にまた審査員が合図をしますので、グループ・ディスカッションを開始してください。
- (3) ディスカッションの時間は85分です。指定された時刻までに議論を終結させてください。
- (4) 審査員は議論の進行に関与しません。決定のしかたや議論の進め方はみなさんで決めてください。
- (5) ディスカッション終了の時間までに、ディスカッションで到達した主要な結論をまとめてください。ただし、全員が同じ結論に到達する必要はありません。複数の結論を含んだまとめでも結構です。また、到達した結論について審査員にプレゼンテーションを行う必要はありません。
- (6) このグループ・ディスカッションはみなさんの論理的思考力、発想力、コミュニケーション能力、チームで作業する能力などを審査するためのものであり、思想・信条を評価の対象とするものではありません。

2016年8月23日に、「私たちは音楽の未来を奪うチケットの高額転売に反対します」と題する意見広告が新聞紙上に掲載された。この意見広告では、数多くのアーティスト、国内音楽イベント、およびコンサート等を運営する事業者の業界団体等が賛同者として名を連ねている。

これによると、「コンサートのチケットを買い占めて不当に価格を釣り上げて転売する個人や業者が横行している現状に、私たちは強い危機感を持っています。これらの組織的・系統的に買い占めるごく少数の人たちのために、チケットが本当に欲しい数多くのファンの手に入らないことに強い憤りを感じています。」「また、私たちアーティストがあずかり知らないところで自らのライブのチケットが高値で転売されることで、ファンは高い金額を払って大きな経済的負担を受け、何回もコンサートを楽しめたり、グッズを購入できたであろう機会を奪われています。」といった主張がなされている。

このような観点から、「チケットの転売」を禁止し、顔認証技術を用いた本人確認システムを導入して、チケットを購入した本人以外がイベントに参加することを拒否するなどの対策が導入されることについては、これを支持する意見もある一方で、転売を全面的に禁止してしまうことには疑問を呈する意見もある。

各種イベントのチケットの転売規制について、あなたは、どのように考えますか。「チケットの転売」を規制することには、だれにとって、どのような意味をもつのか、また、それにはどのような限界や問題点があるのかについて、議論してください。